

文芸欄



俳句

宝愛句らぶ(中央区)

十葉の花の白きよ庭の隅
青葉風受けて並ぶやキッチンカー
そっと咲くベンチの陰の余花白し
相楽園一人沁み沁み若楓
余花に逢ふやわき青葉に包まれて
余花を訪う余生生き生き老いの脚
石つぶて水面に揺らぐ青楓
引き潮の干潟に遊ぶ百千鳥

和子 悦子 千枝子 道子 恵子 丘 和志 啓臣

梅の美会(兵庫区)

春一番追風を受け姥走る
通院の車窓より見る青葉かな
香り立つぽんと開いた桔梗花
願い事溜まりてあふる天の川
湯の宿へ合歓の並木路通り抜け

藤田ユイ子 山口 茂子 岡田富早恵 山田 朝子 栗野 富江

高原ささゆり会(北区)

青山椒水滴りてもやの朝
飲み干せば明日が来る来るスムーズー
施設より二泊の夫の夏夕べ
湯上りの冷やし素麺涼呼んで
足元の手の平に乗せ蝸牛
どなたかと挨拶遅れる夏帽子
孫去りて障子の穴に秋の声

南 久美子 若林 節子 笠井 照子 中山 武子 佐藤かなめ 中井 裕子 松村二三枝

ひまわり句会(北区)

青田風田んぼは日々濃くなりし
足音に浮かび寄り来るメダカたち

石井 敏子 辻 寿賀子

花山短歌会(北区)

水無月の庭のベンチに腰かける広き宇宙の駅舎のような
目が合えば山鳩は鳴き止み我ゆく後再び鳴きね静もる峽に
若緑こぶしの木にも花残りそよ風ふいて初夏を思わす
寒む空を眺めて歩く散歩道楽しみながら歩くこの道
嬉しさはバラバラ家族集まりて今から始まる新神戸集合
散る花にさよなら告げしヒラヒラと落ち行く花よまたねと舞った
老いすすむ己の現在に言葉なく老いを囁みしむ日々の増えゆく

古林 保子 船崎めり子 富田 次夫 磯元カヨ子 清水 恵子 植村 優子 山田加壽代

ひよどり台句会(北区)

夏迎え病と共に早一年
アルプスを遠くにながめ田打ちかな
ゴンドラに届ける滝の響きかな
回復の確かな歩幅風薫る
新樹光風訪ひて秋篠寺

塩見 光子 田中 弘子 中井 光子 矢谷登美子 筒井 豊子

北斗句会(北区)

端居して待つて待ったのへぼ将棋
黒南風や波かけのぼる千畳敷
吾子の掌の灯りほのかや宵螢
螢灯の光冷たき掌
恙なき術後一年冷素麵
螢火や源氏の君のお渡りか
北大地娘と二人夏の旅

黒田 久江 久松 礼子 増田 嗣夫 秋山 弘之 岸下 正二 松本 洋子 小段 安徳

見山台新樹会(北区)

ほととぎす鳴いて知らせる土佐の沖
八十路すぎまだ生きるぞと花見酒
バラ多彩朝の散歩の足める
雄々と白鷺の行く夏の朝
ころあいを撫でてたゞいて嗅ぐメロン
緑蔭や石に窪あり息吹あり
水ぬるむ散歩に重きブーツ穿く

高石 勝行 藤田 和夫 丸尾 嘉子 松隈 弘子 佐溝満喜子 貞永 弘子 石本 宏一

さらく句会(西区)

マドンナも老いて虚ろな朧月
わすれな草宙ふらりに切れし縁
今日も又口きかぬ孫春嵐
足萎えて遠くなりたる夏の山
カーネーション一輪だけで母笑みて
友来るいちごとチョコのケーキ手に

田野 育利 森本 珠実 大橋 治子 尾上 正紀 喜田 弘征 阪本 道子

個人

ハイキング見上げる空に鱗雲
炎天に思いつきり画くほうき雲

(東)北田 建樹 (灘)都倉 知子

梅雨晴れ間イエローレン共に老ゆ

稽古場に思い思いの日傘かな
梅雨晴間六甲山より瀬戸の島
五月晴地域集いて玉入れを
洋館の老人ホームリラの花
時を知る庭のあじさい色を待つ
梅雨何処大口開けて山笑い
今年のオリンピックがパリ祭に
ゲロゲロと鳴き声淋しカラスかな
打ち水に巨石光らず老舗前

(灘)福井 悦子 (灘)安田奈美江 (灘)山上 幸子 (北)山田キミ子 (須)福本 和恵 (須)山本 高江 (垂)大上 昭敏 (垂)木村 敏博 (西)芝田 律子 (西)寺岡 洋子

川柳

桂木ひふみ会(北区)

追伸に大事なことをそつと書く
追慕の念時をなぞれば我ひとり
完璧を求めるほどに老化する
至急回覧届けど日時済んだ後
夢を追うに帰るにちと遅い

荒木 宗Q 京念久美子 笹岡 淑子 杉尾 悦子 大和ケント

筑栄会(北区)

老境も古い恋文捨てぬ阿呆
古写真捨てる気で見てまたしまふ
濃厚な夫野球で豹変す
喜んで孫のお古でおしゃれする
記念写真一眼レフからケイタイで
テレビ見て日本の良さに涙する
オニヤンマ帽子に付けて虫退治

あきら かほう 勢 似 まさこ 三 茶 よし かをる

個人

ダイエツト決めたその日にケーキ食べ
夢の中出来た川柳何んだっけ
揺るぎない格好よいが頑固なり
小気味よく些細なことにありがとう
平成も時は流れて今令和

(東)早川キミエ (東)増田 芳之 (北)かんいち (北)北野 利一 (垂)小高 肇

個人

娘に答ふ現在一番の御馳走は幸福だった日々の想い出
人生は努力してこそ花が咲く人喜ばす人生航路
初めてのウクレレ習いウキウキと須磨の浜辺で気分はハワイ
ドクダミもかわいいた花が咲くまにに摘み手間かけてじゅう薬となる
雨音の聞こえづらくなつた人静かな夜に翼広げる
黒髪も艶失せ既に雪の色過の日還らぬ八十路を生きる
早苗田に五月の陽光ふりそそぎ白鷺一羽畦に立ちいつ
早起きの褒美とばかり聴いてゐる日輪寺の鐘余韻引きつつ

(灘)上田 節子 (灘)酒井 郁美 (中)朝岡 俊之 (兵)大賀 清子 (北)中井 裕子 (須)江口 啓子 (垂)堀江千生子 (西)増田 當代

あとがき

まだまだ夏のような暑さが続いております。会員の皆様、夏のお疲れは出ておられません。9月は各地で様々な祭りやイベントが開催されます。文化を楽しむ良い機会です。ぜひ、地元のイベントに足を運んでみてはいかがでしょうか。新たなことに挑戦したり、体験する刺激が心身の若さを保つ秘訣になります。秋を楽しみましょう。

交通事故 金銭 などで 土地建物 夫婦関係 お困りの方 相続 面会交流 無料 予約不要 最高裁委嘱「調停手続相談」 調停委員が調停のメリットや手続きについてご説明いたします! 日時: 令和6年11月2日(土) 午前10時~午後4時 (受付は午後3時30分まで) 場所: 中央区文化センター (神戸市中央区東町115番地) 主催: 兵庫県調停協会(担当:神戸調停協会) 相談担当者: 民事調停委員及び 家事調停委員(弁護士を含む) 問合せ先 神戸調停協会(神戸簡易裁判所内) (078)367-1179

お仕事をしたい市内在住の60歳以上の方 シルバー会員募集中! 入会希望の方はこちらへ [QRコード] 東中部センター ☎241-2700 (東灘区・灘区・中央区・兵庫区) 西部センター ☎621-6880 (長田区・須磨区・垂水区) 北区センター ☎596-3181 西区センター ☎993-0066 本部 ☎381-6152 公益財団法人 神戸いきいき勤労財団 神戸市シルバー人材センター 〒650-0033 神戸市中央区江戸町104番地江戸町104(6階)